

農業農村整備事業の予算確保について

本会の高貝会長が、民主党秋田県総支部連合会
代表 松浦大悟参議院議員へ要請

国の平成24年度予算において、農業農村整備事業予算が、平成22年度で前年度比37%程度まで削減されたまま、復活には至っていないことから、6月28日、本会の高貝会長はじめ、役員が、民主党秋田県総支部連合会代表の松浦大悟参議院議員へ、「農業農村整備事業の予算確保について」の要請活動を行った。

民主党秋田県総支部連合会代表
参議院議員 松浦大悟様

要請書

農業農村整備事業の予算確保について



平成24年6月28日
秋田県土地改良事業団体連合会
会長 高貝久遠

〈要 請 書〉

日頃より、本県農業農村整備事業並びに本会業務の推進に格別のご指導、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

農業農村整備事業においては、安全・安心で良質な食料を安定的に供給するため、生産基盤の整備をこれまで着実に実施してまいりました。さらに、環境との調和に配慮しつつ、地域資源である農地や農業水利施設など既存ストックの有効活用と保全管理、加えて活力ある美しいむらづくりなどにも取り組んでおります。

しかしながら、農業農村整備事業予算は、平成22年度で前年度比37%程度まで削減されたまま、平成24年度でも復活には至っておりません。本県では、農山漁村地域整備交付金や地域自主戦略交付金及び農業体質強化基盤整備促進事業など前年度補正予算を加えても平成21年度比の7割程度しかなく、今後、予算の追加措置等が困難な中では、来年度予算も極めて厳しい状況にあると推察されます。

また、新たな土地改良長期計画の政策目標の達成のためには、農業農村整備事業予算の大幅な増額が必要であり、これにより継続地区並びに新規採択地区の計画的な事業執行が確保されます。さらに、我が国の環太平洋経済連携協定(TPP)交渉への参加問題は、関係農家に大きな不安を与えておりますが、将来の農業に希望を持って取り組めるよう配慮していただきたい。

農業農村の再生は、戸別所得補償制度だけでなく、生産基盤や定住環境の整備などと連携しながら取り組むべきものであり、農業農村整備事業の役割をご檢察のうえ、平成25年度農業農村整備事業予算の十分な確保のもと、下記事業について特段のご高配を賜りますよう要請いたします。

秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

平成24年度第1回通常総会が開催される

7月11日、秋田市(ルポールみずほ)で「平成24年度秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会第1回通常総会」が、22会員団体(会員数28団体)の出席で開催された。

同対策は、農地や農業用水などの資源の保全と質の向上を図ることを目的に、地域ぐるみでの共同活動や営農活動を支援するもので、平成23年度までの第一期対策に引き続き、4月からは集落を支える体制強化や仕組みの簡素化を図った第二期対策(～平成28年度まで)がスタートしている。

総会は、黒子高夫会長(水土里ネット秋田専務理事)が「農水省では平成19年度から、この農地・水対策を支援してきているが、今年度からは、共同活動支援については仕組みの簡素化を図った上で継続するとともに、老朽化が進む水路等施設の長寿命化対策を追加的に支援することとなった。県協議会としては、平成28年度までの二期対策においても、引き続きこの活動を支援し、合わせて『農地と水』に関わる環境保全活動の大切さを広く県民に訴えると共に、消費者の農業生産活動に関する理解の醸成を図って参りたいと考えている」と挨拶。引き続き、提出案件について協議が行われた。

議事では、平成23年度事業報告、平成23年度収支決算報告(共同・営農・向上・推進)などが議決事項として提出され、審議の結果、いずれも事務局提案通りに承認された。

また、報告事項として業務方法書の改正、事務処理における内部規則の改正なども報告された。

なお、今年度からスタートする二期対策の取り組み状況については、次のとおり報告があった。

- 平成24年度 共同活動支援交付金
活動組織649地区 協定農用地面積68,288ha 算定対象農用地面積67,036ha
- 平成24年度 向上活動支援交付金
活動組織109地区 対象農用地面積4,155ha 水路159km 農道37km ため池8箇所



【担当・問い合わせ先】 秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局
水土里ネット秋田 総務企画部内 TEL.018-888-2748 FAX.018-888-2834

平成24年度秋田県土地改良事業推進大会

- 平成24年11月2日(金) 午後1時00分
- 秋田県能代市「能代市文化会館」能代市追分町4-26

東北農業農村整備推進協議会

第12回通常総会が開催される!!

協議会の解散を承認(事業を土地連絡協議会へ統合)



6月8日、秋田市の「秋田キャスルホテル」で東北農業農村整備推進協議会(高貝久遠会長)の第12回通常総会が、来賓に、難波和聡秋田県農林水産部次長などを迎え、開催された。

始めに、高貝会長が「国では、3月末、緊急の課題である『農業の体質強化』や『震災復興』に対応すべく、前計画を1年前倒した、新たな『土地改良長期計画』を閣議決定しているが、本年度の農業農村整備予算に目を向けると、震災復興には、相当の配慮がなされているものの、『農業の体質強化』を推進する予算面では、激減となった平成22年度と同水準となっている」と挨拶。引き続き行われた農用地等集約化事業優良地区功労者表彰では、東北農業農村整備推進協議会長賞として、8地区、10個人(本県関係3地区、1個人)が受賞した。

議事では、「平成23年度事業報告」、「同決算」の承認議決の後、「東北農業農村整備推進協議会の解散及び残余財産の処分について」では、本協議会を解散、事業の一部(要請活動、表彰)を、東北・北海道土地連絡協議会に統合することが提案され、議決された。

本県関係の受賞者

●優良地区表彰

小種地区 (大仙市協和小種土地改良区)
平鹿高野地区 (平鹿町土地改良区)
会塚地区 (横手市沼館土地改良区)

●功労者表彰

後藤清一 (平鹿町土地改良区)



秋田県農地集団化推進協議会

第52回通常総会を開催!!



6月22日、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」で、秋田県農地集団化推進協議会(佐々木紘一会長)の第52回通常総会が、下山昇秋田県農林水産部農地整備課長、本会高貝久遠会長などを来賓に迎え、開催された。

議事に先立って、「秋田県農地集団化推進協議会農地集団化事業優良地区及び功労者表彰」が行われ、本年度は4地区、1個人が受賞した。

議事では、「平成23年度事業報告」並びに「平成23年度収支決算の承認」、「平成24年度事業計画」並びに「平成24年度収支予算」などが審議され、いずれも原案どおり議決された。

●優良地区表彰

「銅屋地区」(雄和中央土地改良区)
「男鹿浦田地区」(男鹿東部土地改良区)
「中仙南部」(大仙市)
「沼館地区」(横手市沼館土地改良区)

●功労者表彰

安藤一郎 (雄和中央土地改良区前理事長)



秋田土地改良事業団体職員会

第52回通常総会を開催!!



6月29日、秋田市の「県青少年交流センター(ユースパル)」で、秋田県土地改良事業団体職員会(鈴木英弘会長)の第52回通常総会が開催され、「支部組織の強化と情報交換の充実」、「21世紀土地改良区創造運動の推進及び土地改良区の役割に関する啓発」、「農村地域防災に向けた水土里ネットの取組体制強化」など、本年度の事業計画を決めた。

総会は、鈴木会長の挨拶の後に、優良会員表彰、来賓の県農林水産部農地整備課の下山課長、本会の黒子専務理事の祝辞に続き、「平成24年度会計収支予算」等の審議が行われた。

また、議案審議終了後には、県水田総合利用課の担当者による「水田の湛水管理」、本会の水戸常務理事による、農業水利施設内の「ゴミゼロ」対策の説明が行われた。

●優良会員表彰

- ◆鹿角・北秋田 桜庭由香子(大館市土地改良区)
- // 宮野 尚法(北秋田市鷹巣土地改良区)
- ◆秋田 荻原 仁(秋田市旭川筋土地改良区)
- // 山内 忍(飯田川土地改良区)
- ◆平鹿 沼倉 洋子(おものがわ土地改良区)
- // 照井 元(秋田県南旭川水系土地改良区)
- // 高見 智(秋田県南旭川水系土地改良区)
- // 太田 俊之(秋田県南旭川水系土地改良区)
- // 佐藤 真也(秋田県南旭川水系土地改良区)



地球人会議

平成24年度
運営委員会を開催

6月13日(水)、本会第1会議室で「あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人会議」の、平成24年度運営委員会が開催され、平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画(案)・収支予算(案)などが審議された。

各議案はいずれも原案どおり可決され、平成24年度事業計画では、「わくわく探訪」を主催行事として引き続き開催し、昨年度同様に活動予算の範囲内で行うこととするが、他団体と連携した活動も検討していくことが確認された。

なお、議事終了後には、本会が取り組んでいる、農業水利施設内の「ゴミゼロ」対策に係わる意見交換を行い、それぞれの立場から意見・提案が出された。(記事は12頁へ掲載)

＜平成24年度地球人会議運営委員＞

◇会長:山上信子(秋田市男女共生参画運営委員)◇副会長:佐藤敦(秋田県立大学名誉教授)◇
監事:佐藤万里子(F・Fネットあきた南事務局)、藤井明(株式会社かおる堂代表取締役社長)◇
運営委員:黒崎一紀(秋田椿台FM放送株式会社代表取締役)、鑑長秀(NPO法人はちろうプロジェクト事務局長)、小野寺幸雄(NPO法人樽見内地域資源保全委員会事務局長)、館岡美果子(農家民宿ファーム・イン果夢園代表)